市民相談は日本共産党へ
森戸よう子　東町5-14-10　☎042-383-0514
水上ひろし　緑町1-6-7ハイツ光　☎042-301-9521
寺内だい作　貫井南町1-21-13-102　☎042-386-2525
たゆ　久貴　貫井北町1-25-7-4 シルキーゼファーIV101号室　☎042-203-1362

しんぶん小金井
URL http://www.jcpkoganei.com/　日本共産党小金井市議団　検索
2021年8月1日号
No.1793
●発行 しんぶん小金井社
〔連絡先〕小金井市東町4-27-4
☎ 042-381-0779　若木方

市長 くりのみ、さくら、わかたけ市立保育園の廃園案示す

「保育に対するビジョンがなく、乱暴なやり方」と市民から批判が

小金井市は、公立保育園5園のうち、くりのみ、さくら、わかたけ保育園の3園を廃園にする「新たな保育園業務の総合的な見直し方針（案）」を決定したことを、28日に開催された厚生文教委員会に報告しました。

方針（案）では、くりのみ、さくら保育園は来年度以降の園児募集で、0歳児の募集を行わず、在園児全員が卒園する令和9年度3月末に廃園にし、わかたけ保育園は2園の縮小状況や保育ニーズを見て検討するとしています。

廃園の理由は、3園の施設が老朽化し、将来にわたって安全・安心かつ良質な保育の実施が困難であること、今年度の待機児童が40名に減っているため、今後は民間保育園にゆだねていくとしています。

この間、小泉政権による「三位一体改革」により公立保育園の建設費や人件費などの補助が廃止となり、市町村が全額負担しなければならなくなりました。これまで市は財政が厳しいことを理由に、民間委託化を掲げていました。しかし西岡市長は、委託化ではなく民間に移譲する民営化に方針変更し、保護者等に説明してきました。

突然の新たな方針変更に、保護者や市民から「小金井の保育に対するビジョンがなく乱暴なやり方だ」と批判が出ています。

日本共産党は、「保育のニーズは多様化しており、公立保育園の果たす役割は大きい。公立保育園は市民の財産であり、廃園は許されない。」と主張しています。

厚生文教委員会での議論は終了せず、8月10日（火）午後1時から引き続き開催することになりました。

来年度からの小学校給食の委託化について 市民 直営の技術を守り、より良い給食を

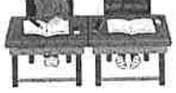
残しての説明会

小金井市教育委員会は、学校給食の全校の委託化について、3回の説明会を開催しました。説明会には58名の市民や議員が参加しました。

教育委員会は財政が厳しいことを理由に、これまでの直営方式を守りながら、民間と連携し給食の質を守っていく方針を転換し、残る4校全てを委託化する方針です。ただ、各学校の栄養士の配置は維持します。2022年度は第三小学校、2024年度は第一小学校を委託化する予定です。

参加した市民からは、「各学校の栄養士を配置し続ける方針の保障はあるのか」、「より良い給食をめざしてきた。更なる委託化をすすめることはやめてほしい」、などの意見が出されました。

市民の中に、「大好き！小金井の給食」というグループが、ホームページやFacebookを立ち上げ、市教育委員会の方針に対し、「これまでの直営を守る約束でした」、「方針転換で小金井の給食の質は守られるのか」と疑問を投げかけています。



新庁舎建設問題で 市議会議員と市長が対話

84億4千万円の建設工事費を下回るか不明

7月26日（月）、新庁舎建設について、6月定例会で決議に賛成した議員と市長との意見交換を行いました。当日は18名の議員が参加しました

市議会は「新型コロナウイルス感染症の下、市民生活に影響を与えない庁舎建設を求める決議」を可決しましたが、庁舎建設予定地には建築確認申請の手続きに入るための看板が掲示され、市議会と相談もなくすすめていることに、多くの議員が疑問を持ち、議員側から申し入れたものです。

市長からは、①市民生活に影響を与えないようコストダウンの方策を検討している、②財政計画については9月定例会中に示すが、建設工事費は10月から11月の間になる、③庁舎建設工事費と浸水対策費を合わせ85億6千万円を下回る実施設計にしたい、④施工者選定委員会委員の打診をしたいなど明らかにしました。

やり取りで、建設工事費は建設資材の高騰により、84億4千万円より下回るかは不明であることや市全体の財政計画に、精査した建設工事費は反映されないことがわかりました。

また、市民への説明会を開催する意思は明らかにしませんでした。

裏面に保育園業務の総合的見直し方針（案）抜粋を掲載

街から

国民の声を無視して、東京五輪が開催されています。テレビをつけるとオリンピック一色。アスリートのみなさんの頑張りはすばらしいと思うけれど、素直に喜べないのは私のおへそが曲がっているのでしょうか。

一方で東京の感染者数が3100人を超え、過去最多となっています。感染者が増えていることに対し、菅首相は、「人流は抑えられている」とちぐはぐな回答。思わず「何を言っているの？」とつぶやいてしまいます。

一方で、市政を振り返れば、公立保育園を廃園にする方針変更案を突然提案したり、学校給食の全校委託化の方針転換を提案する西岡市長。オリンピックどころではありません。

西岡市長を応援した市民から悔恨の声が。小金井の子どもたちの育ちを保障する保育や給食。市の責任放棄は許されません。あきらめず声をあげましょう。（森戸よう子）